

あんべら紙

発行:妻北地域づくり協議会
責任者:会長 水本 明 男
西都市大字右松2606-1
TEL・FAX: 0983-30-3090
E-mail:tsumakita-kyou@
miyazaki-catv.ne.jp
<https://www.tsumakita.org/>

2023年(令和5年)11月15日発行

第 4 1 号

基本方針:「みんなで参加し、安全安心で住みよい地域づくりを目指そう」



都萬神社にて採火の様子

たいまつ行列の様子(石貴階段)



妻高生ランタン班による準備の様子



妻北・記紀の道の準備の様子



妻北地域づくり協議会の皆さま

11月4日(土)古墳まつりのメイン行事の一つ「たいまつ行列」が行われ、妻北地域づくり協議会広報部で支援を行いました。今年は台湾姉妹都市羅東鎮からのお客様を加え580名の参加者でいつにもまして華やかに行われました。

トーチリレーのお迎え

西都古墳まつりのたいまつ行列、炎の祭典で使用される炎は神話伝承の地高千穂（高千穂神社、高千穂の峰頂上）で採火されたものです。今年は10月29日（日）高千穂神社のみで行われ、採火された炎は高千穂町の神様と延岡走ろう会の皆様、実行委員会の皆さんでリレーしはるばる西都市あいそめ広場まで人力で運ばれました。広場では到着式が沢山の皆さんで見守られる中、にぎやかに行われました。協議会の皆さんもたくさんご参加いただきありがとうございました。



リレーされた炎は11月4日まで消えないように見守られ、ニニギノミコトの炎として都萬神社で採火されたコノハナサクヤ姫の炎とともにたいまつ行列にてご陵墓前の炎の祭典に運ばれます。



☆ ★ ☆ ☆ そらとぶランタン ☆ ☆ ☆ ☆

妻高生（文理コース 2-1 ランタン班）が探求の時間の中でランタンを通した市街地活性化に取り組んでいます。

中心市街地の活性化から古墳まつりまで、ランタンで盛り上げようと活動しています。妻北・南地域づくりや学童クラブ・保育園に7月ごろからランタン作りの依頼に回り制作の指導をして活動、古墳まつりまでに2000個のランタン作りを目指すようです。生徒たちが手始めに行ったのがこの『そらとぶランタン』9月のイベントがあまりないのが一つのきっかけで、9月23日（土）18時～あいそめ広場に400個のランタンをデコレーションしライトアップ。会場は幻想的な雰囲気到来場者を魅了していました。さら到来場者にはお花のプレゼントをするなど若い力で企画を盛り上げていました。



妻北元気が出る公演会 (健康福祉部)

『妻北元気が出る公演会』が8月27日に市文化ホールで開催されました。主催は健康福祉部(鬼塚部長) 毎年、様々なジャンルの催しでステージを盛り上げていただきます。今年も、妻高吹奏楽部の素晴らしい演奏からスタートし、コール西都や妻高合唱部の歌声で会場を魅了。他にも空手の演武や日章学園のヒップホップダンス・古墳でこーふん健康体操の簡単バージョンの披露もあり会場の皆さんと一緒に盛り上がりました。ステージの最後は三味線と和太鼓ユニット「今神楽バンド」のすばらしい即興演奏で会場から大きな拍手を頂きました。楽しいお楽しみ抽選会もあり会場に来られた皆さんが笑顔で過ごせたひと時でした。



カワニナの放流 (環境安全部)

ゲンジボタルの幼虫の餌となるカワニナ(巻貝) 約5kgを逢初川に放流する活動が9月17日に実施されました。

逢初川源流から下流約25mの区間の小川を清掃し、15個のザルを小川に投入。



▲カワニナ



小川の清掃 ▶



▲イヌビワの葉



▲参加者集合写真

ザルにはカワニナが食料とするイヌビワとキャベツの葉を入れました。

太ったカワニナをゲンジボタルの幼虫が食べ、来年5月頃には蛍の乱舞が逢初川源流付近で観られる事が楽しみです!



頑張ちよる人

おがた こ
緒方マサ子さん



20数年前、山路毘沙門天のお祭り（4月下旬）で毎回「あくまき」【もち米を木や竹を燃やした灰からとった灰汁（あく）に浸した後、そのもち米を孟宗竹（もうそうちく）の皮でつつんで水で数時間煮込んでつくられる】を地区の人が出していたが、作らなくなって寂しいとの声を聞き、自ら始められました。この間、農協婦人本部長を4期8年間されています。今では、週1回50本～60本の「あくまき」を作られ、いっちょが広場、このはな館に納入されています。この「あくまき」の代金でスイスやカナダほか22ヶ国海外に行かれています。春には、よも

『あくまき』をつくって20年

ぎを取り冷凍して10月頃からよもぎもちを作っておられます。

今では健康、ストレス解消のため西都原で週3回月、水、金の午前中に夫婦でグラウンド・ゴルフを楽しんでおられます。また、JAの書道部で26年ほど書道をされています。



妻北小5年生稲刈り（教育文化部）



9月27日、妻北小の5年生（84名）と先生方、妻北地域づくり協議会や協力者の吉野さんで、もち米の稲刈りと脱穀を行いました。

稲刈りは、2枚の田のうちの1枚を5年生が、もう1枚をコンバインで行いました。

5年生は、列ごとに入れ代わりながら鎌を使って刈り取っていました。とても暑い中、水分補給をしながらよく頑張りました。

稲刈りの経験がなかった中武希龍さんは、田植えをした稲がよく育っていたのでうれしかった。鎌で刈るとき回しながら切ると早く切れたのが面白かった。餅つきも楽しみだと感想を話してくれました。

脱穀は、吉野さんと地域づくりのメンバーがコンバインで行いました。

12月には、刈り取った米で餅つきをして食べることになっているようです。



お詫びと訂正

8月15日発行 第40号に誤りがありましたので訂正してお詫び致します。

P2 誤：「戸無室」近くで → 正：「無戸室」近くで

今後の活動予定	開催日	時間帯	イベント名	開催場所
	11月24日(金)	8:30～	記紀の道を歩こう会	記紀の道
	12月14日(木)	午前中	もちつき	妻北小学校



妻北地域づくり協議会では、
ごみ袋への氏名記入を推進しています。



妻北地域づくり
協議会ホームページ
QRコード